

エネルギー省
ワシントン、DC20585

2014年5月19日

ENERGY STAR コンピュータ・ワークステーション製造事業者

米国エネルギー省／連邦エネルギー管理プログラム(FEMP)は、関係各位が何等かの措置を取りたいと思う問題について、連邦当局によるワークステーションの調達に関する要件について問題を提起する(reach out)。以下に FEMP が提起した問題の説明と解決策を示す。この解決策は、興味のある関係各位には役に立つと考える。

問題の説明

特殊なプロセッサ・チップセットを備え、かつウェークオンラン(Wake-on-LAN: WOL)有効機能(functionality enabled)を備えたコンピュータ・ワークステーションの中には、待機時消費電力(standby power requirement)は1ワット以下という FEMP の要件を満足しないものがあるということに、FEMP は気付いている。連邦当局が機能的要件を満足していない製品を購入する際には、その製品が FEMP の待機時消費電力要件を満足することを、連邦当局が認定して初めて購入できることになっている。

連邦当局の購入担当者がその適否を容易に判定できるように、FEMP では、待機時消費電力要件を満足しているワークステーションモデルの一覧表を常に用意している。一覧表には、従来から単一の WOL 構成(configuration) (WOL 機能有効かもしくは WOL 機能無効のいずれか、しかし両者ではない) に対する待機時消費電力レベルを表示している。FEMP は、ENERGY STAR から待機時消費電力に関するデータを得ており、また、ENERGY STAR に対して出荷時の構成で製品を認定しなければならないので、ENERGY STAR データには出荷時の WOL 構成に対しての待機時消費電力レベルしか提示していない。

出荷時に WOL 機能有効の構成と出荷時に WOL 機能無効の構成との差は、待機時消費電力要件を満足するか、それとも満足しないかとの差を意味する。即ち、ワークステーションを OEM で連邦当局に販売できるか、それとも販売できないかを意味することになる。しかし、ワークステーションの WOL 構成は代替不可というわけではない；WOL 機能は、OEM もしくは当局のシステム管理官により比較的容易に有効にしたり、もしくは無効にしたりでき、また、連邦当局の機能要求を満足するように、機能を調節することもできる。それ故、単一の WOL 構成に対する待機時消費電力定格値(rating)は、最終的な調整構成を代表するものとしては不十分である。FEMP としては、OEM のあるものが単一 WOL 構成に対し単一待機時消費電力の一覧表に載ることで、連邦当局にそのワークステーションを販売

するのに不利になることは望んでいない。

解決策

この問題に対応するために、OEM は、WOL 機能有効と WOL 機能無効の両方のワークステーションの待機時消費電力を FEMP に直接同時に提出することが出来ることにする。提出物は、fempstandbypower@ee.oe.gov に提出する。FEMP では、WOL 機能有効の待機時消費電力と WOL 機能無効の待機時消費電力の両方を、待機時消費電力「低」の製品一覧表に含めることになる。

連邦当局の調達担当官は、両方の構成に対する待機時消費電力を見て、どちらの構成が連邦当局の機能要件に必要なかを判定できる。しかし、この場合でも、連邦当局が 1W より大きな待機時消費電力有するワークステーションを購入する場合には、それを購入せざるを得ないと連邦当局自身が認定して初めて購入することができることになっている。

FEMP は、WOL 機能有効のワークステーションに対する待機時消費電力を低減させる業界の努力・進歩をモニターし、1W 以下の待機時消費電力がこの構成にとり普通のものとなり、二つの異なる待機時消費電力を掲載した一覧表が不要になるのは何時かを判断することになっている。

もし関係各位が上記の問題とその解決策について質問もしくは関心がある場合には、直ぐ私に連絡すること。しかし待機時消費電力レベルに関する情報提出先は私ではなく、fempstandbypower@ee.oe.gov であることに注意のこと。

Mark Reichhardt

連邦エネルギー管理プログラム(FEMP)

エネルギー効率化（省エネルギー）及び再生エネルギー局

米国エネルギー省

電話：(202)586-4788

E-mail: mark.reichhardt@ee.doe.gov

以上